

photokina 2016
2016年9月20日～25日

ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

フォトキナ 2016：新次元への旅立ち

イメージング業界、ケルンでダイナミズムと革新力を証明

191,000人の来場者が夢中になり、出展者も大いに満足したフォトキナ 2016。写真、動画、そしてイメージング産業で世界をリードする見本市であるフォトキナは、9月25日（日）、大成功のうちにケルンで閉幕しました。42カ国から出展した983社は、イメージングの全工程をカバーする豊富な新製品で、専門バイヤーと一般来場者の両方を十分に納得させました。「無限のイメージング „Imaging Unlimited“」という新しいコンセプトは、全分野で効果を発揮しました。ケルン会場を訪れた若者の数は今回大幅に増加、彼らはイメージングの世界への好奇心と興味にあふれ、時間をかけて熱心に新技術や新サービスの情報を得ていました。会場では過去最高数の写真やビデオが撮影され、それがまたシェアされました。ハッシュタグ“phtokina“のついたツイート34,000件が、会期中間、世界中で発信されています。「写真は世界の共通言語」という社会的トレンドが続いています。“Decisive Moment“へのフォーカス、つまり決定的な、唯一の瞬間をとらえようとするトレンドが、セグメントを問わず会場全体で明確に感じられました。

「今回のコンセプト設定は、ただ変化をつければよいというのではなく、イメージング業界に対して、将来に向けての強力なビジネス・プラットフォームを提供したいという意図がありました。新たなターゲットグループにアクセスすることは、そのプロセスに不可欠でした。このコンセプトが奏功したことを本当にうれしく感じています」。こう話すのは、ケルンメッセのゲラルド・ベーゼ社長です。

イメージング業界も、バイヤー、エンドユーザー、業界関係者との6日間にわたる情報交換に満足した様子です。「フォトキナ 2016は、イメージング産業のダイナミズムと革新力をあらためて証明しました。参加者全員にとってフォトキナは特別な体験であり、業界にとっては大きな恩恵です。イメージング製品の商流も、今後数ヶ月は特に活発になるでしょう」。ドイツ写真工業会のライナー・フューレス会長は、満足した様子で会期を振り返ります。

新しいコンセプトの成功は、数字にも表れています。来場者のうち、30歳以下の年齢層が前回比で20%増加しました。エンドユーザーの40%は、今回初めてフォトキナに来場したと答えています。専門バイヤーの来場数は例年並みで安定していました。

「無限のイメージング」の総合コンセプトで開催されたフォトキナ 2016は、さまざまな点で新次元を開くイベントでした。「新しいコンセプトを採用したのは、中核ターゲットグループだけでなく、若い人たちをインスパイアして写真、ビデオ、イメージングというテーマに一層深いレベルで関わってほしかったからです」。ケルンメッセのカタリーナ・C・ハマ副社長は、フォトキナの新コンセプトの背景をこう説明します。「その目的のために、私たちはフォトキナを単なる製品展示会から脱皮させ、マルチメディアイベントへと変身させました。そこでは映像によるコミュニケー

ションが最も重要です。来場者と出展者がこのアイデアにポジティブに反応したことは、会場の空気からはっきりと感じられました」。

「決定的な瞬間」に出展者が重点を置いていたことは、フォトキナ 2016 の全展示分野で明らかでした。技術革新が、瞬間をとらえる写真術に革命を起こしています。エンドユーザーが、ひとつのモチーフやひとつの瞬間をある体験の記念として印刷したり、特別なフォーマットで加工したりすることを好む傾向が、再び強まっています。インスタントカメラのブームは、このトレンドのひとつの表れにすぎません。個人対応の出力ソリューションに対するニーズも高まっています。たとえばフォトキナでは、様々なマテリアルに印刷できる高品質の印刷技術を紹介しました。フォトブックやスクラップブックの新しい質感、フォーマット、クリエイティブなアイデアなどが、「Do it yourself」のトレンドを支え、ユーザーの写真への愛着を形にしています。材料使用の際には、そのサステナビリティがますます重視される傾向にあります。

フォトキナ 2016 に展示されたカメラとレンズの新製品の数々は、プロユーザー、そして野心的なアマチュア写真家の多様なニーズにこたえるものでした。4K フォトや 6K フォトの機能、交換可能なファインダー、自由自在に使えるカメラシステム、RAW フォーマットで即編集可能な画像データなど、フォトグラファーは今日、「決定的な瞬間」をとらえるために最高の技術サポートを得ることができるのです。カメラとレンズのメーカーは、最先端技術だけでなく、美観も重視しています。最高性能とピュアなデザインを統合するトレンドが浸透しています。セミプロ分野で使われるコンパクトカメラのプレミアム製品は、システムカメラ、一丸レフカメラのレベルに一層迫りつつあります。センサーなどの新技術がそれを可能にしているのです。

フォトキナは、プロの、そして初心者のビデオ撮影の分野においても、撮影と編集のさまざまなソリューションを提供しました。アクションフォト、360 度撮影、マルチコプターなどでは、イメージングがいつそう個性的になり、差別化を図ることができます。この事実は、多数の新製品の異なる構造や技術にも、また豊富な付属品と追加機能の中にも認めることができました。「体験すること」がなによりも強調されています。単なる傍観者ではなく、2 度とない瞬間のまっただ中にいるという感覚です。仮想現実、拡張現実の技術が、これまでにないほど容易にそれを実感させてくれることを、来場者は会場の多くのブースで確かめました。

スマートでネットワーク化されたソリューションは、フォトキナ 2016 で大きな役割を果たしました。著名カメラメーカーとスマートフォンメーカーによる、カメラ技術とアタッチメント分野での共同出展が顕著にそれを示しています。それだけでなく、スマートフォンやタブレットが、ときには外付けのリリースやモニターとして、ときには無人機の制御において、ときには画像の編集時に、そしてシェアリングツールとして、イメージング工程の中心的要素に発展しつつあります。これに対応するため、アーカイブ化やプレゼンテーションを容易にするインテリジェントなアプリが多数登場しています。

今回のモットーである「無限のイメージング」を体験するための新しい試みは、来場者に大好評でした。今回新設された「レンタルポイント」（カメラと付属品の貸出サービス）は、メッセ会期中ずっと品切れの状態でした。

会場に設営された多数の写真展は、効果的に写真の芸術的側面を伝えていました。写真展“Masters of Photography”では、ライカが公式パートナーとして、ホール 1 に傑出したコレクションを展示しました。

フォトキナをめぐる（映像による）コミュニケーションもまた、新しいレベルに達しています。統計によると、メッセ開催期間中には、世界中でフォトキナ関連の写真 15,000 点、ビデオ 1,500 本がソーシャルウェブのパブリックエリアにアップされて共有されました。

フォトキナ 2016 は展示全体を通じて、イメージング技術と、世代やターゲットグループを超えたイメージングへの愛情とが、新しい時代を迎えていることを強く印象づけました。

photokina 2016 データ :

フォトキナ 2016 には 42 カ国から 983 社が出展、その 69%が海外からの参加でした。内訳は、ドイツから 211 の出展者と 97 の代理人、海外から 460 の出展者と 215 の代理人です。来場者数は最終日推定を含め、133 カ国から 191,000 人でした。

次回のフォトキナは、2018 年 9 月 25 日（火）～30 日（日）に開催されます。

プレス担当者の皆様へ :

photokina 2016 の写真は、www.photokina.de „Press “ の写真データベースで入手可能です。

プレス情報はこちらです。 www.photokina.de/pressinformation

Facebook

<https://www.facebook.com/photokina>